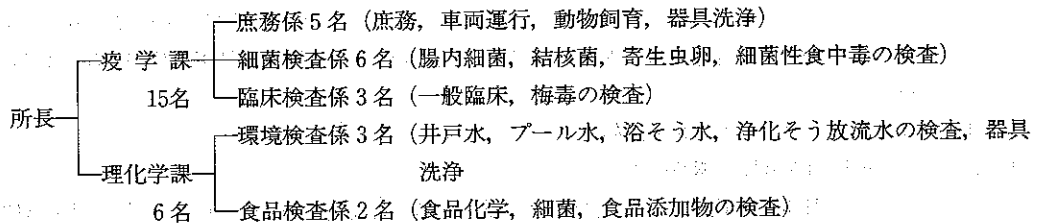


V. 参 考 资 料

1. 沿革

37. 4 市内4保健所の試験室を統合し(一部臨床検査を除く)、衛生試験所として発足。施設は、新築の中央保健所合同庁舎の2階一部、面積200m²。総数22名で、発足時の組織は下記のとおり



(6月:市煤煙防止条例制定)

38. 4 総数24名(増員2名:臨床検査1名, 大気汚染検査1名)

39. 4 水質汚濁検査を拡充(主要河川調査, 洗剤汚染調査等)

(8月:阿賀野川水銀中毒(第2水俣病)発生)

40. 4 総数25名(増員1名:水質汚濁検査)

41. 4 総数26名(増員1名:水質汚濁検査)

41. 7 施設増改修(2, 3階の一部), 面積550m²に増(2階:理化学, 3階:事務室, 疫学)

42. 4 定数29名(増員3名:庶務1名, 食品検査1名, 水質検査1名)

(8月:公害対策基本法制定)

43. 4 定数31名(増員2名:細菌検査)

(6月:大気汚染防止法制定, 5月:イタイイタイ病公害病認定, カネミ油症発生)

44. 4 定数34名(増員3名:庶務1名, 食品検査1名, 水質検査1名)。ウイルス検査を開始

(牛乳のBHC汚染問題化, 11月:チクロ使用禁止)

45. 4 定数36名(増員2名:臨床検査1名, 食品検査1名)。農薬検査開始

(12月:水質汚濁防止法制定)

46. 4 定数39名。公害検査係を新設し, 環境検査係から大気, 水質汚濁検査を移管(2課6係)

(6月:悪臭防止法制定, 7月:環境庁発足)

47. 4 公害検査課を新設。理化学課から公害検査係を分離, 当課所属とする(3課6係)。また, 庶務係を事務係に, 細菌検査係を微生物検査係にそれぞれ名称変更。定員41名(増員2名:食品検査)。施設の大増改修開始(3, 4階部分, 47~48年度継続事業)。製品検査(かん水, 色素製剤)開始

(3月:市公害防止条例制定; 4月:政令指定都市移行)

47. 7 PCBの残留検査開始

(8月:食品中残留PCB暫定規制値制定)

48. 4 衛生研究所と改称。定数43名(増員2名:水質汚濁検査), かん水等食品検査係の細菌検査を微生物検査係に移管

48. 10 施設改修完了。占有面積1,457m²

(10月:家庭用品の規制に関する法律, 化学物質の規制に関する法律制定)

48. 11 環境汚染健康影響の正常値に関する研究(毛髪中重金属検査担当)実施(環境庁委託)

49. 4 定数45名(増員2名:微生物1名, 家庭用品1名)。環境検査係で家庭用品検査開始

49. 7 悪臭物質分析開始(7月:悪臭防止法に基づく規制地域及び規制規準制定)

50. 4 公害検査課を大気検査係と水質検査係に分割(3課7係)。定数47名(増員2名:大気検査1名, 水質汚濁検査1名)

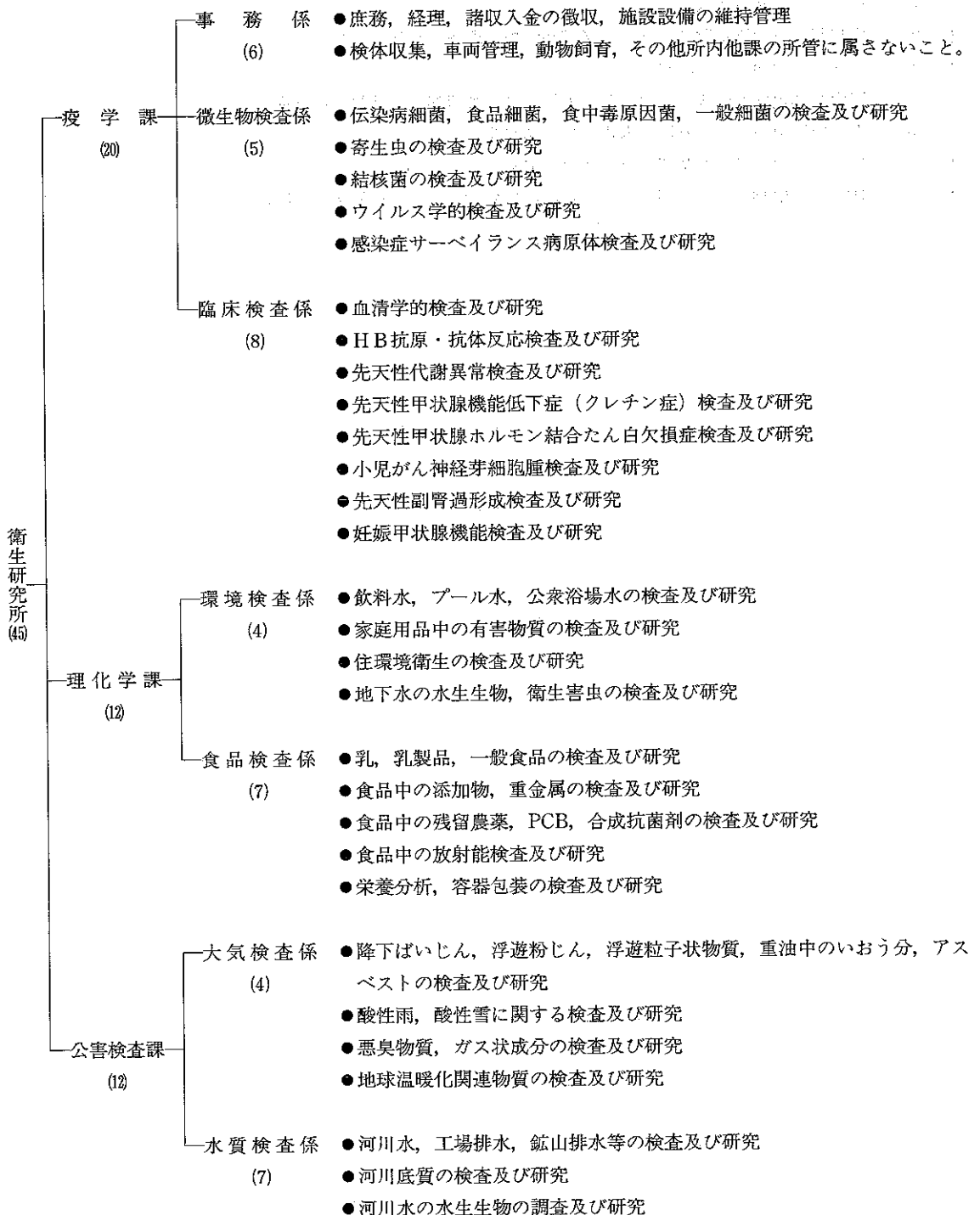
50. 7 全国環境測定分析統一精度管理調査に参加(初回)

(2月:PCB環境基準告示)

51. 6 化学物質環境調査実施（環境庁委託）
52. 4 微生物・臨床検査室の改修（放射性免疫化学検査室の設置等 75㎡）。微生物検査係の1名を臨床検査係へ配置替えし、先天性代謝異常検査開始
〔7月・先天性代謝異常検査に関する厚生省通達〕
53. 4 微生物検査係の3名を臨床検査係へ配置替えし、先天性甲状腺機能低下症検査開始。製品検査民間移譲
53. 11 コレラ菌のサーベイランス開始（下水、その他）
54. 7 地域環境調査実施（環境庁委託）
〔7月・先天性甲状腺機能低下症に関する厚生省通達、12月・市コレラ防疫対策実施要領作成〕
55. 6 先天性甲状腺ホルモン結合たん白欠損症検査開始
〔10月・過酸化水素の食品残留禁止告示〕
55. 12 昭和55年度地研全国研究「健康と飲料水の無機成分に関する研究」に参加（初回）
56. 4 小児がん神経芽細胞腫検査開始。大気中ホルマリン検査実施（環境庁委託）
56. 6 感染症サーベイランス事業実施、河川水生生物調査開始
56. 10 河川底質調査実施（環境庁委託）
57. 5 先天性副腎皮質過形成検査開始
57. 10 厚生科学研究「食品添加物の1日総摂取量に関する研究」に参加（初回）
57. 10 非特定重大障害物質発生源等対策調査（スチレン）実施（環境庁委託）
57. 10 Sストアー清田店の飲料水汚染による我が国最大規模の集団食中毒（患者数7,751）発生
57. 12 電子顕微鏡室の新設（既設の原子吸光室等の移設と改修により新設）と電子顕微鏡の設置
58. 4 市内排水路等環境調査（病原菌等サーベイランス事業）を開始（疫学課微生物検査係と公害検査課水質検査係の合同）
58. 10 水質管理計画調査（地下水保全対策調査）実施（環境庁委託）
58. 10 非特定重大障害物質発生源等対策調査（キシレン）実施（環境庁委託）
58. 11 厚生科学研究「各都道府県における食品等に係る衛生化学検査の精度管理」に参加（初回）
59. 7 高周波プラズマ発光分光光度計（IPC）の設置
59. 11 ガスクロマトグラフ・マススペクトルの設置
59. 11 スパイクタイヤによるアスファルト粉じん調査開始（札幌市5カ年事業計画）
60. 7 化学物質環境汚染実態調査に参加（環境庁委託）
60. 8 未規制大気汚染物質発生源対策調査実施（環境庁委託）
61. 4 新庁舎調査設計費（4千万円）予算計上される
61. 6 妊婦甲状腺機能検査開始
62. 1 酸性雨（雪）調査を本格的に開始
62. 4 アスベスト調査開始
62. 5 新庁舎建設着工
63. 6 北海道・東北ブロック酸性雨協同調査に参加
63. 9 新庁舎竣工
鉄筋コンクリート造 地下1階 地上4階建 延べ3,255㎡ 建設費総額16億5千万円
- 元. 4 フロンガス調査開始
- 元. 8 輸入食品中の放射能検査開始
- 元. 8 未規制大気汚染物質モニタリング調査実施（環境庁委託）
2. 3 札幌アジア冬季大会の女性検査実施

- 2. 4 札幌市感染症サーベイラス事業・病原体検査を開始
- 2. 7 遺伝子診断装置導入
- 2. 8 未規制大気汚染物質モニタリング調査実施（環境庁委託）
- 2. 8 地球温暖化関連物質調査開始
- 2. 9 樹木の浄化能力に関する共同研究実施（環境管理部，森林総合研究所）
- 2. 10 大気環境中の低沸点有機塩素化合物の調査開始
- 3. 2 札幌ユニバシアード冬期大会女性検査実施
- 3. 3 JICA 集団研修コース「新生児・乳児マスキリーニング技術」の実施

2. 組織と事務分掌 (平成3年11月1日現在)



※ カッコ内の数値は職員定数

3. 職員配置

平成3年11月1日現在

課係別	職種別	医師 職	技 術 職						事務 職	業 務 職	技 能 職	合 計	
			獸 医 学	薬 学	理 学	工 学	農 学	水 産 学					技 術 檢 査 師
所	長	1										1	
参	事			1								1	
疫 学 課 (22)	課 長												
	檢 査 主 幹					1						1	
	事 務 係								4	1	2	7	
	微 生 物 檢 査 係			1	2		1	1				5	
	臨 床 檢 査 係			4	1	1		1	1			8	
理 化 学 課 (12)	課 長		1									1	
	環 境 檢 査 係		1	1		1	1					4	
	食 品 檢 査 係			1	2	2	1	1				7	
公 害 檢 査 課 (10)	課 長			1								1	
	大 気 檢 査 係					3						3	
	水 質 檢 査 係				2	3	1					6	
合 計		1	2	9	7	10	5	3	1	4	1	2	45

4. 職員名簿

平成3年11月1日現在

所長	菊地由生子	理化学課長	前田博之
参事	清水良夫	環境検査係長	浦嶋幸雄
疫学課検査主幹	横田秀幸	技術職員	赤石準一
事務係長	依田豊章	〃	早川祥美
事務職員	今泉博之	〃	西尾香奈子
〃	佐藤光男	食品検査係長	佐藤稔
〃	伊藤三紀子	技術職員	河合正暁
業務職員	新居剛	〃	山本優
技能職員	長谷部修	〃	惠花孝昭
〃	松下隆文	〃	阿部敦子
微生物検査係長	大森茂	〃	木原敏博
技術職員	川合常明	〃	三上篤
〃	吉田靖宏	公害検査課長	権丈隆一
〃	小林毅	大気検査係長	大谷倫子
〃	小野准子	技術職員	立野英嗣
臨床検査係長	福士勝	〃	伊藤正範
医療技術専門員	遠田芳也	水質検査係長	辻貞利
技術職員	荒井修	技術職員	藤山彰二
〃	水嶋好清	〃	浅野みね子
〃	花井潤師	〃	西野茂幸
〃	山口昭弘	〃	土佐林誠一
〃	扇谷陽子	〃	小田達也
〃	米森宏子		

市政等資料番号	01-H07-91-471
関係部局保存期間	1年

年報編集委員

委員長
委員

横田 秀幸 幸章
依田 森茂
大森 士勝
遠藤 田嶋也
浦佐 大雄
大辻 藤谷 倫子
利

札幌市衛生研究所年報（第18号）
1991

印刷 平成3年12月24日
発行 平成3年12月24日

編集兼 〒003 札幌市白石区菊水9条1丁目
発行 札幌市衛生研究所
電話 (011)841-2341
FAX (011)841-7073

印刷 (株)共同印刷
電話 (011)241-9341